

## 4 生成AIの活用について

### 生成AI活用ワークショップ 要点のまとめ

生成AIを活用するに必要な要素  
(活用する前提として利用者に求められるもの)

#### 生成AIの性能を最大限引き出すための入力 (プロンプト※)

※プロンプトとは…

生成AI等で用いられている用語。ユーザーがAIに対して入力する「指示」のことで、AIに何を生成すべきかの方向性を定める情報のこと。

#### 回答を読み解く能力

- ・ 正確性を確認（ファクトチェック）できる能力
- ・ 次の問いのプロンプトへ展開能力

#### 生成AIの限界を知る

- ・ 生成AIが知りえた範囲でしか答えない。
- ・ 真偽の情報も同列で扱っている。  
→ 正確性に欠けた回答が出される。

#### 遵守事項の理解

- ・ 機密性の確保（個人情報、内部情報）
- ・ 著作権等のコンプライアンス遵守
- ・ 職員による最終確認

### 具体的な活用シーン

多種多様な活用が可能であることがわかった。（一部適さないものがある）

具体的には…

あいさつ文、添書等の案の作成

答弁要旨（案）の作成、想定再質問の想定

計画等の文書を作成するための章立て

キャッチフレーズ等のアイデア出し

多種多様な課題の発見とその解決方法のアドバイス

#### 適さないもの

- ・ 検索エンジン的な活用（偽情報がまぎれる）
- ・ 業務マニュアルやフローチャートの作成

# プロンプトエンジニアリングの重要性（質問例）

## 一般的なプロンプト

## 工夫したプロンプト

### 質問内容

市がマラソン大会を主催するにあたり、あいさつ文を作成してください。

### 生成内容

尊敬する皆様へ、

私たちの素晴らしい都市で、待ちに待ったマラソン大会が間もなく開催されますことを心よりお知らせいたします。この特別なイベントを主催できることを光栄に思い、皆様にご挨拶申し上げます。

市民の健康と活動促進を目指し、私たちはこのマラソン大会を開催する決断をしました。参加者の皆様には、最高の競技環境と心地よいランニング体験を提供することを約束いたします。

この大会は、単なる競技の場にとどまらず、地域社会の結束を高める機会でもあります。スポーツの力のよって、私たちは一体となり、友情と協力の絆を築くことができます。また、このイベントは健康的なライフスタイルを推進するための一環として、市民の皆様に健康への意識を喚起するきっかけとなるでしょう。

大会に参加いただくランナーや応援に駆けぬける観客の皆様には、安全を最優先に考えた運営を行います。医療スタッフやボランティアの方々が、安心して大会を楽しんでいただけるように全力でサポートいたします。

最後になりますが、このマラソン大会の成功は皆様のご協力とご支援によって成り立つものです。私たちは地域の一員として、皆様と共にこの素晴らしいイベントを盛り上げることを心から願っています。

心躍るマラソン大会に向けて、皆様のご参加と熱い応援をお待ちしております。素晴らしい一日を共有し、思い出に残る体験を作り上げましょう！

敬具  
(市の名前) 市長

**初夏に福島県郡山市が開催するマラソンイベント「こおりやまシティマラソン」を開催するにあたり、主催者のあいさつ文の案を作成してください。その際、さわやかな初夏であること水と緑にあふれる郡山市と開拓者精神にあふれる郡山市を踏まえた文にしてください。**

皆様、こんにちは！

初夏の爽やかな季節、心地よい風が吹き抜ける中、福島県郡山市では「こおりやまシティマラソン」を開催いたします。この素晴らしいイベントにお集まりいただき、誠にありがとうございます。

**郡山市は、水と緑にあふれた美しい街です。透き通るような清流や豊かな自然環境に囲まれており、ランナーの皆さんが一步一步踏みしめる地面は、開放感と活気に満ちています。**このイベントでは、そんな風景の中で皆さんの走りを応援し、素晴らしい瞬間を共有することができることを心より楽しみにしております。

また、**郡山市は開拓者精神にあふれたまちでもあります。歴史を刻みながら、常に新たな挑戦に向かってきた人々の姿勢が息づいています。マラソンという過酷な競技に取り組む皆さんも、その開拓者のような精神を持ち合わせていることでしょう。**共に一歩一歩前進し、自己の限界に挑戦しながらも、勇気と決意を持ってゴールに向かって走り抜けましょう！

「こおりやまシティマラソン」は、郡山市の魅力を最大限に活かした大会となることを目指しています。参加者の皆様には、美しい風景に感動し、地域の温かさを肌で感じ、他のランナーとの交流を通じて心に深い思い出を刻んでいただけることでしょう。

最後になりますが、このイベントの成功には皆様のご協力が不可欠です。安全なレースを実現するため、主催者として最善の対策を講じるとともに、参加者の皆様にもマラソンのルールとマナーをお守りいただきたくお願い申し上げます。

「こおりやまシティマラソン」が、皆様にとって充実した時間となり、素晴らしい思い出となることを心から願っています。皆様のご参加を心よりお待ちしております！

ありがとうございました。

議論のポイント

具体的な活用シーン

◆プロンプト(※)の重要性

- 具体的な質問や文を使用する。
- 文脈を提供する。  
AIにはないステップバイステップ思考をさせる。
- 期待するフォーマットや詳細を示す。  
例)「箇条書きで」「プロのマーケターの視点で」
- 追加の質問をプロンプトに盛り込む。
- 複数の試行を行い、最適なプロンプトを見つける。

プロンプト  
エンジニアリング

等

◆活用が期待できるもの

- 想定質疑作成  
チャットGPTへの質問回答後、さらに「これに対し考えられる質問は何?」「他にどんな情報が必要?」などと聞く。
- 市長指示等への返答案作成  
本市では取り組んだことがない事業、視点に関する市長指示に対し、どんなメリットデメリットがあるか着眼点のヒントを得られる。
- 挨拶文作成  
シチュエーションを詳細に伝え、どんな視点を盛り込むか等、詳細な注文を付けた上で総論的、理念的な叩き台とする。それに自分で時事ネタを加えると良い。
- Word、PowerPoint文章作成サポート  
長文を章立てして分割・要約してくれる。

等

◆活用が難しいもの

- 検索エンジンのな活用法
- 業務マニュアルやフローチャートの作成

◆質問の仕方、順序等の重要性

- 制約文も抽象的なものでなく、より具体的なものにする。  
例)「郡山市」ではなく、「転入転出が多い」など背景情報を入力
- 文字数、ターゲットや年齢層を事前に指定
- 対話をしながら調整していく。  
枕詞(まじめな、おもしろい、最先端の)を使いながら。
- 生成AIの限界を知る。(ファクトチェックを怠らない)

プロンプト  
エンジニアリング

等

◆活用が期待できるもの

- 議会答弁の資料作成
- メール要約
- 翻訳業務(作成、添削等)
- アイデア出しの壁役(SDGs、市政100周年、etc...)
- 問題点の事前確認

等

Aグループ

Bグループ

議論のポイント

具体的な活用シーン

Cグループ

◆使用する上での懸念事項の整理

情報セキュリティ

- 正確性  
正しさよりも正しく見える文書を作成するのが得意、正しいかどうかで作成していない。
  - 偏った学習をさせてバイアスがかからないか。
  - 調べるだけならネットでもよい。
  - プロンプトの知識がないと使いこなせない。  
仕事で使うには知識が必要。
  - NGルールを知らない  
個人情報入力×と知らない人も多いのかも。
  - 努力の希薄化  
頑張ったことに対する評価はなくなってしまふ。
  - 思考力の低下？  
知識や思考力がないと質問を聞いたり、回答できないので生成AIを使って思考力や言語力を上げられる。
  - 著作権侵害  
著作権を犯していないか確認手段が不明。
- 等

◆活用が期待できるもの

- 文章の作成
  - 仕様書・要綱・パンフ・広報原稿の原案作成
  - イベント企画立案
  - 議会答弁の答弁案の作成
  - 再質問の想定回答作成
  - あいさつ文のたたき案作り
  - メモを協議録にしてくれる。
  - 進行シナリオ作成
  - シンポジウムでAIパネリスト
  - 口調を変えてキャラになりきって回答してもらう。
- 等

◆活用が難しいもの

- 税率の計算や金額の計算
- 専門的な情報
- 最新の情報（有料版ならできるか）
- 個別具体の問い合わせ

Dグループ

◆具体的な活用シーンの検討

- 資料の利活用
  - ・要綱や資料の確認作業の短縮
  - ・新規事業や災害等で使用する資料の立案
- 窓口の利活用
  - ・交付手続きで利用し時間を短縮
  - ・長時間の窓口対応や長電話の回避

「議論のポイント」に同じ

議論のポイント

具体的な活用シーン

Eグループ

◆有効な活用のためのポイントを整理

- 情報を取捨選択する。使えるものだけ使う。  
質問に対して得られた回答の中から適切なものを選択する。  
適切なものがなければ追加で回答を求める。
- 前提を記載し、対話を意識する。(プロンプトの重要性)  
前提情報を詳しく伝えることで回答はより正確なものとなる。  
やりとりの中で必要な情報を伝える。

プロンプト  
エンジニアリング

◆活用が期待できるもの

- 対話形式でアドバイスを求める。
- ・消防団の定員の維持について生成AIを相手に対話形式でアドバイスを求める。



アドバイスを得られた。

Fグループ

◆得られた回答をマインドマップ化

- 「人」によるマインドマップ化  
さらなる掘り下げのための対話のために必要
- マインドマップに従い、知りたい項目についてさらに対話

回答読解能力

◆活用が期待できるもの

- 一般的な課題解決のアプローチ
- パターン解析/最適配分
- 文書作成/翻訳/要約/意味解析/文章校正

◆活用が難しいもの

- 専門領域に関する情報提供
- 正確な最新情報の提供

# ワークショップでの研究を踏まえたロードマップ

- ✓ これまでの研究から「一般的な課題解決のアプローチ」、「文書の要約」や「アイデアの創出」に有効性が認められた。行政事務の効率化に寄与すると考えられる。
- ✓ 利活用の際し、利用者のリテラシー向上が求められる。
  - ・「プロンプトエンジニアリング」  
より有効な回答を導くための「プロンプト」作成能力  
※プロンプトエンジニアリング…A Iに対して適切な質問や支持を与えることで、より望ましい結果を引き出す技術のこと。
  - ・「回答読解能力」  
得られた回答を次のプロンプトに活かすためのマインドマップ能力
  - ・「情報セキュリティ」  
安全に利活用するためのルール作り（禁止事項の整理）が必要

6月	7月	8月	9月	10月	11月
★6/12_市職員による利活用研究ワークショップキックオフ ★6/30_中間とりまとめ					
WS	WS（若手職員やデジタルリーダーを中心に継続）				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の継続（広域圏自治体職員や市民参加型のワークショップ等）</li> <li>・禁止事項の整理（DX戦略課）</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドライン（案）の策定</li> </ul>			★10/未定_ 「（仮）生成A I利活用ガイドライン」策定	
	★7/21_D X関連6法活用推進本部				
		★8月下旬_ 「（仮）生成A I利活用のためのプロンプトエンジニアリング研修」			
				生成A Iの運用開始	

# 現在までの研究を踏まえたガイドラインの骨子（案）

ガイドラインの目的：安全性の確保と効果的な利活用のために

## ○利活用に際し遵守する事項（セキュリティポリシー）

- ・ 禁止事項の整理  
個人情報、内部情報
- ・ コンプライアンス遵守  
著作権 など
- ・ ファクトチェック（真偽の判断など）  
職員が最終的に責任を持つことについて（職員による確認）

## ○効果的な利活用

- ・ 生成A I の機能を最大限発揮させるためのプロンプトルール
- ・ 具体的なプロンプト
- ・ 対話型での利用  
プロンプト → 生成A I 回答 → マインドマップ化 → プロンプト・・・